

2. “複線型採用”を進めるための12のノウハウ

“複線型採用”企業が、さまざまな経営メリットを実感できているのは、多様な経歴や価値観を持つ若者を対象に、募集・採用を進めていく場合、直面しがちな問題に対して、さまざまな工夫をし、問題解決を図っているからです。また、そうした問題解決の取り組みの積み重ねが、自社の募集・採用ノウハウや人材育成ノウハウとして、組織に蓄積されていきます。蓄積されたそれらのノウハウの活用は、更に効率的な人材の確保を実現する、

という好循環をもたらします。その結果、自社の経営目標を達成するための、人材基盤を強化することができるのです。

図-1は、“複線型採用”企業の工夫や取り組みを整理したものです。“複線型採用”企業が行った工夫や取り組みを参考に、募集・採用の段階と、採用後の段階ごとに、“複線型採用”を進めるための12のノウハウについて見ていきます。

図-1 “複線型採用”を進めるための12のノウハウ

● 募集・採用段階における工夫・取り組み

(1) 効果的な募集・採用の実施

- ① 求める人材像を明確にしたブレない採用、人物本位の採用
- ② フリーターや既卒者も募集対象に追加する等の募集・採用方法の見直し
- ③ 自社の非正規社員からの正社員登用
- ④ 入社後のミスマッチ防止を図るための工夫
- ⑤ 募集・採用コストの低減

■ 採用後の段階における工夫・取り組み

(2) 定着率の向上

- ⑥ 自社イズムの浸透を図る
- ⑦ 若者の悩みやトラブルを解消する体制の整備
- ⑧ 納得性の高い評価・処遇
- ⑨ 社内の連携やコミュニケーションの強化

(3) 人材の質の向上

- ⑩ 採用後の育成と育成方法の工夫
- ⑪ モチベーション向上のための工夫
- ⑫ 育成コストの低減

★ “複線型採用”によって実感している経営メリット

- 求める人材の確保と人材基盤の強化
- 募集・採用、人材育成ノウハウの蓄積
- 人材基盤の強化による経営目標の実現